

1935年東京都生まれ。旧満州（中国東北地方）で少年時代を過ごす。静岡市に引き揚げ後、市立城内中学、県立静岡高校卒業（70期）。早稲田大学文学部露文科卒業。詩人、作家として詩誌「汜」「現代詩」を中心に詩作活動を行い、67年に詩集『東京午前三時』で日氏賞、71年『わがキディ・ランド』で高見順賞を受賞。73年に小説『鶉』で芥川賞を受賞。主な著書に『ぼたぼた』（野間児童文芸賞）、『駁者の秋』（平林たい子文学賞）、『路地』（谷崎潤一郎賞）、『裸足と貝殻』（読売文学賞）など。長編小説『柴笛と地図』は静岡高校時代の3年間で瑞々しい筆致で綴られている。99年紫綬褒章受章。

議案主旨

一号議案 規約改正

①会議体の理事会・正副会長会について、総会議事決議の実態に合わせ、順序と業務を修正。(第5条、第6条、第7条、第8条、第9条の2)
②総会での議長権限を追加し、進行も実態に合わせて修正。(第8条)
③各期幹事会と委員会を会議体から外し第三章、第四章から削除
「各期幹事と委員会」として、新設の第五章(その他活動)に明記。

(第15条、第16条)
④「各種集まり及び行事」を削除。
(旧第19条)
⑤前記に伴い条項番号を整備。
(第17条、第22条)
⑥その他文言の微細な修正。
(第8条、第13条)

二号議案 2023年度事業報告・決算報告・監査報告

【事業報告】

総会は懇親会付のハイブリッド形式、理事会・正副会長会は、WEB会議を中心に開催しました。交流目的のイベントである異業種交流会、

卒業18年目の会・卒業26年目の会、各期幹事会は、コロナが収束したとして対面の形で実施しました。
【決算概要】
年会費収入が見込みを大幅に下回り、繰越金を繰り入れました。
【収入】
年会費(維持費) 件数は昨年度より78件減少し、589件でした。
【支出】
ハイブリッド形式による別日のハイハルや総会懇親会のほか、異業種交流会、卒業18年目の会・卒業26年目の会、各期幹事

三号議案 2024年度事業計画・予算計画

【事業計画】

イベント名を便宜上変更します。
卒業18年目の会 ↓ 卒18の会
卒業26年目の会 ↓ 卒26の会
各期幹事会 ↓ (仮称)新春のつどい

会報印刷代は値上げとなります。総会や交流目的のイベントは対面の開催形式に戻し、理事会・正副会長会はさらにリモート会議を増やし、支出を抑えます。

2024年度



静中静高関東同窓会

日時 2024年 7月6日(土)

12:30 開場/13:00～総会・講演・懇親会

場所 日本プレスセンター10階ホール

参加費 ¥5,000 (大学生無料、119期以降の方¥3,000)

アクセス



地下鉄 丸ノ内線 霞ヶ関駅(出口B-2)
地下鉄 三田線 内幸町駅(出口A-7)
地下鉄 日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅(出口C-4)

参加申込



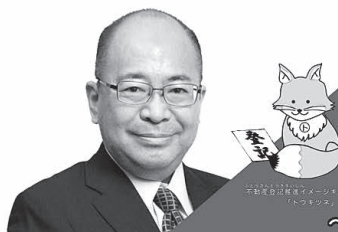
関東同窓会会員登録

Mail: shizukokanto@gmail.com
Fax: 03-5217-0301



参加をご希望の方は
専用フォーム(QRコード)、
メールまたはFaxで
氏名・卒業期・連絡先を
ご記入の上
お申し込みください

講演

「相続登記の
申請義務化」～空き家・所有者不明土地問題の
解決に向けて～

日本司法書士会連合会会長

小澤 吉徳

(101期)

多くの同窓生のご参加を
心よりお待ちしております
幹事担当 101期

講演者より「挨拶

101期 小澤吉徳

所有者不明土地問題の改善を図るため、相続登記が4月から義務化されました。公的な面から見ると、土地所有者の特定は公共事業にとって不可欠です。一方相続する立場から見ると、放っておくと、今後相続が起るたびに、ますます権利関係が複雑化し、売却が困難になるなど、問題が子孫へ引き継がれます。相続登記の伝道師として、わかりやすくお話しできればと思います。

講演者プロフィール

小澤吉徳(おざわよし のり) 1991年、司法書士登録・開業。その後、日本司法書士会連合会 消費者問題対策推進委員会委員長、日本司法書士会連合会 理事、静岡県司法書士会 副会長、日本司法書士会連合会 常任理事・副会長等を歴任。現在、日本司法書士会連合会会長として、民事訴訟のIT化に関する国会での参考人としての意見陳述、被災者・セクシャルマイノリティの皆様・経済的困窮者等に寄り添う会長声明の発信など、幅広く活動中。

会を実施し、これらはほぼ予算内での支出となりました。

【監査】

2024年4月17日、会計監査を実施しました。

古書コミ活動は休止します。

【収入】

年会費件数は、前年度の実績とほぼ同数の600件を想定しました。

【支出】

会報印刷代は値上げとなります。総会や交流目的のイベントは対面の開催形式に戻し、理事会・正副会長会はさらにリモート会議を増やし、支出を抑えます。

一号議案 規約改正

現行	改正案
<第三章 会議> 第5条（種類） <u>当会の会議は、総会、正副会長会、及び理事会とする。また当会は期相互の情報交換と懇親を深めるために各期幹事会を設ける。会長は必要に応じ、委員会を設置することができる。</u> 第6条（招集） <u>総会、正副会長会、理事会、各期幹事会は会長が招集する。委員会は、会長より囑託された委員長が招集する。</u> 第7条（業務） <u>定時総会は、年1回開催して、事務・会計等の報告を受け、必要事項を議定する。</u> <u>正副会長会は、通常の会務を評議執行し、その他緊急を要する事項につき決議する。</u> <u>理事会は、会長の諮問に応ずる。</u> 第8条（議長） <u>総会、正副会長会、理事会の議長には会長が当たり、会長が不都合なときは副会長が代理をすることができる。会長、副会長ともに不都合なときは理事の互選で代理者を定める。なお、議長は会の始めにあたり司会役を指名することができる。委員会の議長は、委員長が当たる。</u> <中略> 第9条の2（書面または電磁的記録による決議） <u>総会、正副会長会、理事会は、次の各事由の一がある場合には、会議を招集することに代え、書面または電磁的記録により決議することができる。<中略></u> <第四章 役員及び顧問> 第10条（役員） <u>当会は次の役員を置く。</u> ・会長 1名 ・副会長 若干名 ・理事 30名以内 ・監事 2名 <u>当会には別に各期幹事会があり各期はそれぞれ幹事を若干名置くことができる。</u> 第11条（選出） <u>会長、副会長、監事は総会で当会会員の中から選任し、理事は会長が委嘱し、各期幹事は各期の推薦を受け会長がこれを委嘱する。委員は、目的に応じ、副会長・理事・監事・顧問の推薦を受け会長が囑託する。</u> 第12条（任務） <u>会長は当会を代表し会務を統括する。<中略></u> <u>各期幹事は、各自の期をまとめ、当会の運営に協力する。</u> <u>委員会は、会長の諮問事項に基づき活動し、正副会長会ならびに理事会へ提議し、当会の運営に協力する。</u> 第13条（任期） <u>役員の任期は選任された日より3ヶ年目の定時総会の日までとする。但し重任を妨げない。任期途中で交代があった場合その後任者の任期は前任者の残任期間とする。</u> <u>理事と各期幹事と委員の任期は定めない。</u> <中略> <第五章 会計> 第15条（会計年度） 第16条（会費） <第六章 付則> 第17条（会報） 第18条（名簿） 第19条（各種集まり及び行事） <u>各期幹事会は会長が囑託する副会長が、委員会活動においては委員長が、その他諸活動はそれぞれ副会長又は理事がその責任者となり活動目的に添って円滑に運営する。</u> 第20条（規定外項目） 第21条（規約改正） 改正 平成30年7月6日 改正 令和3年7月2日	<第三章 会議> 第5条（種類） <u>当会の会議は、総会、理事会、及び正副会長会（会長、副会長、監事及び会長が指名する者により構成）とする。</u> 第6条（招集） <u>総会、理事会、及び正副会長会は会長が招集する。</u> 第7条（業務） <u>定時総会は、年1回開催して、事務・会計等の報告を受け、必要事項を議定する。</u> <u>理事会は、通常の会務を評議し、総会に付議する議案を決定する。</u> <u>正副会長会は、必要な時に開催し、会務全般について協議する。</u> 第8条（議長） <u>総会、理事会、正副会長会の議長には会長が当たり、会長が不都合なときは副会長が代行することができる。会長、副会長ともに不都合なときは理事の互選で代行者を定める。なお、議長は議事の説明を副会長に委ねることができる。また、議長は、会議の秩序を維持し、議事を進めるため必要な措置をとることができる。</u> <中略> 第9条の2（書面または電磁的記録による決議） <u>総会、理事会、正副会長会は、次の各事由の一がある場合には、会議を招集することに代え、書面または電磁的記録により決議することができる。<中略></u> <第四章 役員及び顧問> 第10条（役員） <u>当会は次の役員を置く。</u> ・会長 1名 ・副会長 若干名 ・理事 30名以内 ・監事 2名 第11条（選出） <u>会長、副会長、監事は総会で当会会員の中から選任し、理事は会長が委嘱する。</u> 第12条（任務） <u>会長は当会を代表し会務を統括する。<中略></u> 第13条（任期） <u>役員の任期は選任された日より3ヶ年目の定時総会の日までとする。但し再任を妨げない。任期途中で交代があった場合その後任者の任期は前任者の残任期間とする。</u> <u>理事の任期は定めない。</u> <中略> <第五章 その他活動> 第15条（委員会） <u>会長は、当会の活動を円滑に運営する為、委員会を設けることができる。委員会のメンバーは会長が委嘱する。</u> 第16条（各期幹事） <u>各期をまとめ当会の活動に協力する為、各期に幹事を置く。会長がこれを委嘱する。</u> <第六章 会計> 第17条（会計年度） 第18条（会費） <第七章 付則> 第19条（会報） 第20条（名簿） 第21条（規定外項目） 第22条（規約改正） 改正 平成30年7月6日 改正 令和3年7月2日 改正 令和6年7月6日

二号議案

2023 年度事業報告 自 2023/4/1～至 2024/3/31

1. 第 48 回 静中静高関東同窓会総会開催（幹事 100 期）
- (1) 日

時：2023 年 7 月 1 日（土） 13 時
- (2) 場所・形式：

日本プレスセンター10F ホール及び WEB・ハイブリッド形式
- (3) 参 加 者：

（現地）157 名・（WEB）14 名 計 171 名参加
- (4) 来 賓：

（本校）織田敦校長、（本部）松村友吉同窓会長、（事務局）三浦俊一事務局長、
（支部）加藤政幸中部支部長、久住和茂関西副会長、（静高野球部後援会）河村卓利会長
- (5) 会 長 挨 拶：

杉山順一会長
- (6) 来 賓 挨 拶：

織田敦校長、松村友吉同窓会長
- (7) 議 事：

全議事が可決承認
一号議事 2022 年度事業報告・決算報告・監査報告
二号議事 2023 年度事業計画・予算計画
- (8) 母校野球部紹介：

河村卓利静高野球部後援会会長
- (9) 講 演 会：

講演者・久保田明史氏（100 期）「自ら道を切り拓く。起業家人生と起業のススメ」
- (10) 懇 親 会：

日本プレスセンター10F ホール 総会終了後～16 時 30 分
2. 会 報 編 集 委 員 会：2 回（5・12 月）会報発行
3. 2023 年 度 会 計 監 査：2024 年 4 月 17 日
4. 正 副 会 長 会 (役 員 会)：6 回（対面会議 1 回、WEB 会議 5 回）
5. 理 事 会：5 回（ハイブリッド会議 3 回、WEB 会議 2 回）
6. 各 期 幹 事 会：2024 年 2 月 24 日開催
7. 異 業 種 交 流 会：2 回開催 2023 年 10 月 6 日、2024 年 1 月 25 日
8. 古 書 コ ミ 活 動：2023 年 7 月 1 日開催
9. 卒 業 1 8 年 目 の 会：2023 年 10 月 15 日開催（121 期対象）
10. 卒 業 2 6 年 目 の 会：2023 年 10 月 7 日開催（113 期対象）
11. W E B 広 報 委 員 会：ホームページ更新・SNS 発信（随時）
12. 規 約 改 正 委 員 会：3 回開催 2023 年 10 月 4 日、11 月 15 日、2024 年 2 月 21 日

決算報告

監査報告

(収入の部)

科 目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度決算	予算比	備考
年会費	2,001,000	2,070,000	1,767,000	85.4%	年会費589件
総会・懇親会費	0	680,000	813,000	119.6%	
会報広告料	410,000	400,000	400,000	100.0%	
本部助成金	250,000	250,000	250,000	100.0%	
受取利息その他	1,709	0	382		
繰越金繰り入れ	0	0	259,497		
計	2,662,709	3,400,000	3,489,879	102.6%	

(支出の部)

科 目	2022年度実績	2023年度予算	2023年度決算	予算比	備考
総会費	146,937	1,183,000	1,332,625	112.6%	
(内総会会場費等)	(146,937)	(358,000)	(367,925)	102.8%	
(内懇親会費)	0	(825,000)	(964,700)	116.9%	飲料代値上げほか
会報発行費	1,309,004	1,330,000	1,319,661	99.2%	
(内印刷費)	(750,100)	(770,000)	(774,665)	100.6%	印刷費値上げあり
(内発送費)	(558,904)	(560,000)	(544,996)	97.3%	
役員理事会費等	87,371	108,000	84,412	78.2%	11回のうち会議室利用4回
活動費（各イベント）	58,795	296,000	273,691	92.5%	
旅費・交通費	0	13,000	12,940	99.5%	
銀行郵便局振込料	114,503	120,000	109,722	91.4%	年会費件数減による負担減
通信費	78,850	89,000	82,128	92.3%	
(内インターネット)	(76,530)	(84,000)	(79,268)	94.4%	Zoom及びHP運用費の値上げあり
事務費	240,000	240,000	240,000	100.0%	
消耗品費・雑費	59,870	12,000	7,110	59.3%	
予備費	1,500	9,000	27,590	306.6%	支部総会参加
計	2,096,830	3,400,000	3,489,879	102.6%	

2022年度

2023年度

繰越金 5,226,930

繰越金 4,967,433

監査報告書

静中静高関東同窓会
会長 杉山順一殿

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 3 1 日
までの収支決算書及び財産目録、並びに
関係書類、帳簿等を精査致しました結果、
正確適正に処理されていることを認め
ご報告致します。

2024 年 4 月 17 日
静中静高関東同窓会

監事 松島 勲 (84 期)

監事 竹田 徹 (85 期)

財産目録

2024 年 3 月 31 日現在

1. 現金 59,178 円
2. 預貯金 みずほ銀行 907,611 円
- ゆうちょ銀行 4,000,644 円
- 預貯金計 4,908,255 円
- 現金預貯金合計 4,967,433 円

三号議案

2024 年度事業計画

自 2024/4/1～至 2025/3/31

1. 第 49 回 静中静高関東同窓会総会開催（幹事 101 期）
- (1) 日 時：2024 年 7 月 6 日（土）13 時
- (2) 場 所：日本プレスセンター10F ホール
- (3) 議 案：一号議案 規約改正
- 二号議案 2023 年度事業報告・決算報告・監査報告
- 三号議案 2024 年度事業計画・予算計画
- (4) 講演会：講演者・小澤吉徳氏（101 期）
- テーマ：「相続登記の申請義務化」～空き家・所有者不明土地問題の解決に向けて～
- (5) 懇親会：日本プレスセンター10F ホール 総会終了後～16 時 30 分
2. 会 報 編 集 委 員 会：年 2 回（5・12 月）会報発行
3. 2024 年 度 会 計 監 査：2025 年 4 月
4. 正 副 会 長 会（役 員 会）：5 回（WEB 会議 5 回）
5. 理 事 会：5 回（ハイブリッド会議 2 回、WEB 会議 3 回）
6. （仮 称）新 春 の つ ど い：1 回開催予定
7. 異 業 種 交 流 会：2024 年 6 月 14 日・2025 年 1 月開催予定（年 2 回）
8. 卒 1 8 の 会：2024 年度開催予定（122 期対象）
9. 卒 2 6 の 会：2024 年度開催予定（114 期対象）
10. W E B 広 報 委 員 会：ホームページ更新・SNS 発信（随時）
11. 若 手 会 員 獲 得 活 動：在校生・大学生へのアプローチ等、工夫し継続

予算計画

(収入の部)

科 目	2023年度決算	2023年度予算	2024年度予算	予算比	備 考
年 会 費	1,767,000	2,070,000	1,800,000	87.0%	年会費600件を想定
総会・懇親会費	813,000	680,000	820,000	120.6%	前年実績並み
会報広告料	400,000	400,000	400,000	100.0%	
本部助成金	250,000	250,000	250,000	100.0%	
受取利息その他	382	0	0		
繰越金繰り入れ	259,497		152,500		
計	3,489,879	3,400,000	3,422,500	100.7%	

(支出の部)

科 目	2023年度決算	2023年度予算	2024年度予算	予算比	備 考
総 会 費	1,332,625	1,183,000	1,251,000	105.7%	リアル開催/懇親会あり/別日でのリハーサル設定せず
(内総会会場費等)	(367,925)	(358,000)	(339,000)	94.7%	ホール全面半日
(内総会懇親会費)	(964,700)	(825,000)	(912,000)	110.5%	160名規模を想定
会報発行費	1,319,661	1,330,000	1,395,000	104.9%	
(内印刷費)	(774,665)	(770,000)	(850,000)	110.4%	値上げ要請あり
(内発送費)	(544,996)	(560,000)	(545,000)	97.3%	前年実績並み
役員理事会費等	84,412	108,000	50,000	46.3%	会議室利用は理事会6月・12月のみ
活動費（各イベント）	273,691	296,000	237,500	80.2%	異業種2回・(仮称)新春のつどい・卒18の会・卒26の会
旅費・交通費	12,940	13,000	41,000	315.4%	支部総会を考慮
銀行郵便局振込料	109,722	120,000	110,000	91.7%	前年実績並み
通信費	82,128	89,000	85,000	95.5%	みずほWEB、HP維持費、ZOOM
(内インターネット)	(79,268)	(84,000)	(79,300)	94.4%	前年実績並み
事務費	240,000	240,000	240,000	100.0%	
消耗品費・雑費	7,110	12,000	3,000	25.0%	在校生への案内チラシ印刷代等
予備費	27,590	9,000	10,000	111.1%	
計	3,489,879	3,400,000	3,422,500	100.7%	

2023年度

2024年度

繰越金 4,967,433

繰越金 4,814,933

業種、世代を超えた交流

異業種交流会報告

次回、第34回は6月

1月25日(金) 日本プレスセンターにて第33回異業種交流会が開催され、過去最多32名が参加しました。

余剰資源と革新活動の結合

青島 矢一

日本企業の経常利益率はコロナ期に一時低下するものの基本的に右肩上がり推移している。その一方で、一人当たりGDPのランキングは急落して直近では34位。(全要素)生産性も、1998年以降、先進国の中で日本は最も沈んでいる。企業の利益は増え続けるのに、生産性は上がらず、国民は豊かにならない。これはどういうことなのか。

リーマンショック直前の時期も日本企業の利益率は高かったが、付加価値率(売上占める付加価値の割合)は低下していた。(純)付加価値には利益、税金、賃借料、利子、人件費が含まれる。付加価値率が低下するのにより利益率が增大するということは、利子や人件費、税金が減った分が利益にまわっていたからと考えられる。マイナスイノベーション政策は企業利益の増大につながり、非正規社員の採用やアウトソーシングの活用も利益を押し上げた。バブルの頃は付加価値の増大と人件費の増大が連動していたが、90年代中

盤以降からは付加価値は利益と連動するようになった。

利益を出す方法は二つある。一つは付加価値を増やすこと。これであれば、株主も従業員も国も喜ぶ。もう一つの方法は、付加価値を利益に厚く配分する方法。ただし後者にはおのずと限界がある。利益率向上に貢献したもう一つ

の要因は円安。自動車産業のよくな輸出産業は円安の恩恵を受け、そこに供給する裾野産業にも利益が流れた。市場に大量のお金を流し、円安と株高を誘導した政府の金融政策は、その意味では成功だったと言える。しかし、その背後には膨大な国の借金が残っている。昨年時点で日銀にはおよそ六百兆円の国債があり、いまだ増え続けている。



99期・青島矢一氏(一橋大学大学院イノベーション研究センター長)による日本経済への提言で、大変興味深いお話でした。

企業は利益を生み、株主もバブル以降の最高値となった。しかし、企業が真の競争力を獲得した結果として国が豊かになっているとは思えない。国の借金もいずれソフトランディングしなくてはならない。その時期に今から備えないといけない。

かつてのエコポイントを覚えているだろうか。2009年から約八千億円の税金を投入して、実質

的にテレビの購入支援をした補助事業だ。結果、需要の先食いが起き、一時期に企業は潤ったものの、その後売上げは急落し、日本の家電企業は壊滅的な打撃を受けた。似たことは再エネでも起きた。太陽光発電の固定価格買取制度により一時的に日本の太陽光パネルメーカーは潤ったものの、買取価格が低下し、輸入が増える

と日本企業は市場から退出を余儀なくされた。今や太陽光パネル市場は中国企業の独壇場だ。幾度となく政策に踊らされてきたものの、現状、日本企業が潤っていることは確かだ。内部留保は五百五十兆円を超え、現預金も三百兆円に迫っている。多額の現金保有に対する投資家の批判に対して、日本企業は自社株買いや配当金の増大で対応している。それは、株主還元策としては評価されるだろうが、本来は企業の事業成長に投入すべきお金である。さらにそれが、もとを辿ると、部分的であれ、国の借金の恩恵によるものだとするならば、安易に評価できるものではない。

しかし企業が成長するには「真つ当な経営」と「イノベーション」の両輪が必要である。それを大手企業の内部で両立させることが難しいのであれば、大手企業がつ資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を、革新を担うスタートアップ企業とつなげることが必要だ。

たとえば、Spiberという慶應大学発のベンチャー企業がある。人工クモ糸を目指して創業し、微生物発酵の構造タンパク質素材の量産を目指す企業だ。この素材の商品化プロセスでは、発酵や紡糸に知見のある大手企業OBの支援が重要であった。高度成長期にゼロからプラントを立ち上げた経験を持つこれら大手企業のOBは、広範囲な能力やノウハウを持つだけでなく、次世代の若者を育てたいという思いもあり、真剣な支援を行う。こうした個人的な支援の他にも、大手企業との共同開発や大手企業からの出資など、様々な形で大手企業との協業が、その成長過程では重要な役割を果たしてきた。

大金があるのになぜ成長投資に回せないのか。経営者の立場に立てば理解はできる。日々、資本市場からは収益性や資本効率、透明性や説明責任を強く求められている。つまり企業には「真つ当な経営」が必要だ。他方、新規事業に繋がるイノベーションは本来、逸脱行為であり、事前には非合理で非論理的に見えることが多い。イノベーションは真つ当な経営とは馴染まない面がある。

不確実性の高い革新活動への資源投入を経済合理的な観点からのみ正当化することは難しい。イノベーションを生むには、人の心を動かすような魅力あるストーリーや個人の強い覚悟や熱意が必要となる。同時に、余剰資源と革新活動を結合するような国家レベルのマクロの仕組みを再構築することも必要であり、その意味でまさに今は正念場である。

お金があるのになぜ成長投資に回せないのか。経営者の立場に立てば理解はできる。日々、資本市場からは収益性や資本効率、透明性や説明責任を強く求められている。つまり企業には「真つ当な経営」が必要だ。他方、新規事業に繋がるイノベーションは本来、逸脱行為であり、事前には非合理で非論理的に見えることが多い。イノベーションは真つ当な経営とは馴染まない面がある。

大金があるのになぜ成長投資に回せないのか。経営者の立場に立てば理解はできる。日々、資本市場からは収益性や資本効率、透明性や説明責任を強く求められている。つまり企業には「真つ当な経営」が必要だ。他方、新規事業に繋がるイノベーションは本来、逸脱行為であり、事前には非合理で非論理的に見えることが多い。イノベーションは真つ当な経営とは馴染まない面がある。



異業種交流会の後半は、参加者全員の自己紹介と楽しい懇親。今後も期を越え業種を越えた交流にお気軽にご参加下さい

集まれば、みんな楽しい！ 卒業後イベント報告

卒業18年目の会

121期 田村 俊和

『卒業18年目の会』を10月15日（日）に東京・大手町『KAITEK CAFE』で開催しました。当初は『卒業15年目の会』として計画していましたが、コロナの影響からなかなか開催できず、卒業した時の年齢の倍の年齢である36歳になり、ようやく集まることができました。



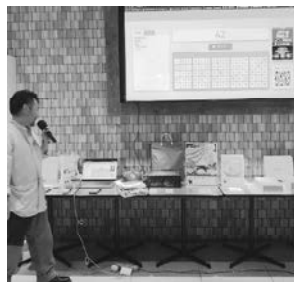
日曜の正午、和やかにスタート。



ラグビー部顧問の村上勇先生を囲んで楽しいひと時。

30代後半は、仕事に子育てに何かと忙しい世代ではありますが

が、121期42名、お子様3名、先生2名（河西伸之先生、村上勇先生）、同窓会OB OG 4名、計51名が参加し、大盛況となりました。笑顔が素敵な小さなお子さんは、終始ニコニコで会場を和やかな空気にしてくれました。村上先生は教え子の結婚式前に駆けつけてくれました。



ネットアプリを使ったビンゴ大会の景品は、総計27点！

ビンゴ大会では、当日参加できなかった同期も含め所属する会社に関する景品が続々と集まり、大変豪華なビンゴ大会になったとともに、静高OB OGが多岐にわたる企業に勤めているのだと改めて感じました。デイズニールクのペアチケットまで提供いただけたとは思いませんでした。



河西伸之先生（英語）は懐かしい学級誌を持参され、エピソードを披露してくださいました。

卒業以来18年ぶりに再会した人も多く、仮装や野球応援、部活

など当時の話はもちろん、仕事や家庭、子育てなど最近の話でも盛り上がり、2時間では足りないほど。大勢の方が2次会、3次会へと繰り出し、終電近くまで楽しんでいただけた人も多かったようです。私も楽しさのあまり相当酔うまで飲みました。



月日が経っても変わらぬ距離感で話も尽きず。



2次会、3次会へ。その後も同期の輪が広がっています。

当初はどれほどの人が集まるのか不安もありましたが、結果的には多くの人が集まり、また、120名以上の「TPOグループ」ができ、そこで「年末に静岡で集まろう」と声掛けがあるなど、次に繋がる会にできたことを大変喜ばしく感じています。西新宿のバーで店長を務める遠藤恵介君のバーテ

時にはびっくりしましたが（笑）。



幹事のみんな、ありがとう！

今回、主幹事を務めました。ラグビー部の石神君、石原君、仲田君、同じクラスだった坪井さん、豊泉君、シンガーソングライターの斉藤さんにも幹事になってもらい、大いに支えてもらいました。毎回の幹事打合せも楽しかったです。本当にありがとうございました。121期の繋がりがこれからも続いていくと良いなど強く感じた会でした。同期のみんな、また集まりましょう！！

★遠藤君の作るカクテルは絶品
雰囲気抜群のバーです。ぜひ皆さん訪れてみてください。



「OLD VALLEY」（新宿区西新宿1-15-9 石井ビルB1F）は新宿駅西口から徒歩4分。朝まで営業しています。

113期は、成人式のタイミングで「卒6の会」として集合して以来、部活やクラス単位での飲み会は一部で継続されていましたが、学年全体で集合する機会は無く、コロナ蔓延と共にそれらの開催も叶わない状態が続いていました。



土曜の昼から乾杯。みな話に夢中で食事は後回し。



会場は静岡からのアクセスもよい品川「Patio」

卒業26年目の会

113期 関 匡史

10月7日（土）に、東京・品川にて113期（2007年3月卒業生）の同期会を開催しました。当時9クラスで350人ほどが在籍していましたが、その内54名に参加していただきました。

コロナが収束しかけた頃、関東同窓会の理事の方から「113期は、卒業25年の会は開催しないの？」と聞かれたことがきっかけで、2023年11月に東京で勤務している同期生6名がとりあえず集まることから始まりました。卒業アルバムを持参して集まったので、皆でアルバムを見ながら当時の思い出を語ると共に、各人の仕事や私生活での近況を話していくうちに、今回の同期会を本格的に企画してみようと話が進み、1年後の2023年10月7日に同期会開催を仮設定しました。40代中盤ともなると意思決定が早いなど、感心したことを覚えています。



同期会企画は1年前からスタート

高校卒業時にはSNSがなかった私たちも、Facebook、LINE等、それぞれが持っている情報をかき集めながら、グーグルフォームを活用し、参加者を募りました。想定以上の反響に驚きながら、開催場所が静岡であればもっと大勢の方が参加したであろうという手応えを感じました。



急きょ30人が入れる二次会の居酒屋が見つかった！



25年経ってもすぐにJKトークに。



それぞれの近況に花が咲きます。

同期会当日、それぞれのフィールドで頑張っている同級生との再会は、卒業からの25年間という時間を忘れるほどで、すぐに在校当時の様に会話が始まり、先

生・部活・仮装など様々な思い出が甦り、皆が一気に若返った感覚をもったのではないかと思います。当時はあまり話したことのないメンバーと新たな繋がりが持てたことも含めて、とても感慨深い時間となり、13時にスタートした同期会は、4次会まで開催され、気が付けば終電になっていたのです。

コロナの影響が大きい時期でしたが、OnlineよりもOfflineがよいなあと改めて感じる事ができました。今後も同期会の開催を定期に検討して行きたいと思っています。今回参加できなかった113期の方々も、是非次回の同期会の参加をお待ちしております。



「次は静岡で集まりたいね」とこの日は一旦解散。今後が楽しみです。

エッセイ集

「セレクション時代考証」

81期 若桜木 虔

男女同姓は明治時代から

朝井まかて作『恋歌』を直木賞受賞作ということで期待して読んだが、時代考証が出鱈目で、どっちらけ。直木賞の選考時に、なぜ時代考証の専門家を入れないのか、苦言を呈したい。

主人公の中島登世が林家に嫁入りして林登世となり、事情があるが「旧姓」の中島登世に戻るのだが、そんな馬鹿なことがあるわけがない。結婚して同じ苗字になるのは明治三十一年に成立した民法で「夫婦は同姓とすべし」とされてから。明治九年の太政官布告では「妻は実家の姓を使用すべし」だから、江戸時代は養子に入らない限り、苗字が変わることはない。

見延典子の大作『頼山陽』でも、母親の梅鷹が「頼梅鷹」と名乗っているが、これも間違いで「飯岡梅鷹」でなければならぬ。歌人なので、「ペンネーム」として「頼梅鷹」と名乗ったのであれば許されるが、そんな記述は、どこにも見当たらない。

そもそも、こういう間違いは細川ガラシャのせいだろう。歴史上「細川ガラシャ」なる人物は存在しない。「明智ガラシャ」である。

北条政子は「源政子」ではないし、日野富子は「足利富子」ではない。織田信長の正室は斎藤歸蝶（もしくは胡蝶）であって織田歸蝶ではない。

豊臣秀吉の正室の寧々は豊臣寧々や羽柴寧々ではなく、最初が杉原寧々で、浅野家の養女となつて浅野寧々となり、秀吉に嫁いだ。秀吉の盟友の前田利家の正室の松は、篠原松であつて、前田松ではない。こんな、ちよつと調べれば、すぐに分かることを、なぜ怠るのか、甚だ疑問である。

クロロホルムと胃酸カリ

クロロホルムに関して根本的に思い違いしているミステリー作家は、残念ながら非常に多い。クロロホルムを嗅がせて失神させるには、だいたい五時間から八時間ぐらい嗅がせ続ける必要がある、しかも個人差が大きくて、九割の人間は気分が悪くなるだけで気絶しない。

ハンカチとかタオルにクロロホルムを染み込ませたものを顔に被せられ、瞬時に意識喪失、などということは100%ない。

ましてや、鍵穴から、こっそりクロロホルムを流し込んで、室内にいる人間全員を昏睡状態に陥れる（そういうミステリーがあった）など、不可能である。

手術時のように、患者にマスクを被せて吸引させるような方式でも使わなければ、昏睡状態にすることは無理である。

次に、胃酸カリ。これは一般的には猛毒だと思

われているが、学生時代（東大の生物学専攻博士課程）に様々な毒薬を扱っていた人間の目から見れば、青酸カリは猛毒ではなく、中程度の毒物である。

しかも、激烈な味がする。

口紅に混入するとか、切手を舐めて貼る性癖のある人間を毒殺するのには切手の裏に塗っておく、などの方法で毒殺することは、ほぼ不可能である。

激烈な刺激があるので、すぐに水で洗う。嚥下するなど、まず、有り得ない。

これは、故人となられた由良三郎さん（東大の医学研究所教授だった）でさえ間違えておられたので「先生。その方法での毒殺は不可能です」と電話で申し上げたのを記憶している。

青酸は致死量にならない微量で用いると、喘息の発作を止めるのに劇的に効く。

日本薬局方で青酸は入手できるが、毒物であるので、身分証明その他、購入に際しては、かなり厳重な審査がある。

当然、通販などで手に入れることはできない。（時代考証家）

世界を開く60冊の本

77期 中川 素子

毎晩、二人の息子に絵本を読み聞かせていた私だが、絵本は小さな子どもだけのものとは思っていない。赤ちゃんから老齢まで楽

しめるものと考えている。それに時代の状況や抱える問題を、子どもたちと話し合えるわかりやすいヒントも絵本の中には多い。

本書では、「自分らしく生きる」、「生き方の多様性」、「恋するとは」、「ジェンダーについて考える」、「老いの姿を見つめる」、「戦争を見つめ、平和を祈る」、「災害に襲われ、乗り越える」、「自然の豊かさを味わう」などを含んだ全部で十三のテーマをもとに、六十冊の絵本を選んでいく。

絵本というと、物語が第一に語られるが、表現はそれだけではなく。物語以外の表現にも気づくことができれば、絵本の魅力をもつと感じられることであろう。

たとえば、首の長いのが嫌でたまらないキリンが首の短い亀のために高い木の上のバナナを取ってあげる『キリンのなやみごと』では、折りたたんだ紙を伸ばしたり、文字のレイアウトで首の長さを強調している。

カメラや映像の表現を絵本にもちこみ、鶏のトサカから宇宙に漂う地球までズームアウトさせ、地球のあり様を広い視点で印象的に捉えた『ZOOM ズーム』。

散らかしてばかりの男性と、片付けてばかりの男性が一緒に暮らしている『ちらかしさんとおかたしさん』は、新しい愛の形をユーモアを込めて描いている。

乗り物の種類により二酸化炭素の量が変わるのを、デザイン力により示した『CO₂のりものずかん』は、SDGsの問題を、子どもたちにわかりやすく見せている。

「ごはんまだー」と叫ぶだけで手伝おうとしない夫と息子に「豚さんたちのお世話はどうこりごりー」と妻であり母親が去る『おんぶはこりごり』。暖炉の上に飾られたイギリスの名画からも、妻の姿が消えている。付け加えよりも、カットの方が強く感じるのだ。近頃、人里によく姿をみせる熊だが、熊と人間双方からの見方をみせる『あっちの耳、こっちの目』は、物体としての絵本のあり方も対位法構造で表現して興味深い。

絵本は、作者と読者の双方向性メディアとしても捉えることができ、視覚表現の素晴らしさや絵本コンセプトの面白さなどを、楽しみ味わって欲しいと思う。



中川素子著『世界をひらく60冊の絵本』平凡社新書・二二〇〇円

脱サラ11年のモノローグ(上)

86期 成岡 和美

酒や食事を楽しむ側から一転、もてなす側へ。脱サラから創業、閉店（二〇〇六年）に至るまでの十一年間に、カウンターの内外で感じ、学んだことの数々を綴ってみたい。

創業は一九九五年。この年は阪神淡路大震災、オウム事件発生と

カストロファイバー連鎖の胸が痛む年だった。しかし、バブル崩壊から五年の年月を経て、景気も底を打ち、これから上昇に転じるとのいくばくかの期待を含む予測もあった。酒好きの男には自分が行きたいと思う店を自分の発想で作ってみたいというささやかな夢がある。そして自分の店に友も招きたい。広告、出版から転じての飲食業。前職の関係（スポーツ出版社・年間出張百二十日）から各地の産直のルートや少なからず人的ネットワークも築くことができ、東京では入手できない酒や食材、それを取り巻く文化の幾片かを提案できるとも思ったのだ。

まず、店のコンセプトづくり。久しく女性の時代といわれていたが食の世界も然り。女性は常に新しいスポーツにアンテナを張りそこに行きたがる。男は行きつけの店をつくり、常連としてそこに通いたがる。しかし女性は新たな店を一度訪ねても二度目以降は店にほどの吸引力がないと通わない。男性も女性を連れていくような店を開拓しようとする。常に女性の感覚が支配的なのだ。ということでカップルが通ってくれ、時が静かに流れていくような店づくりをした。

東京・青山の片隅のビルの地下。大地と空を模した空間、ジャズが流れる隠れ家のような小さなスィバーがオープンした。店の名は青山SEIZAN。漢詩やことわざに「人間到處青山在り」というものがある。青山は墓地の意、どこへ行こうとも骨を埋める場所はある。まあ希望を捨てずに生きていくということか。

基本商品の寿司ネタは静岡からの生桜海老、しらす。酒の肴に黒はんぺん、秋田のじゅんさい、鹿児島島の離島鰾島からきびなご等を直送してもらい、沖縄の粗塩、四十万十川の源水も現地から調達した。わけでもない知恵を絞って独自に考案した野菜の寿司十数種は不思議に女性、そして食べずぎを気にする男性軍に受けた。食には軽やかな驚きが必要だ。TV等でも取り上げられ、後に銀座に野菜寿司の専門店ができたとき、少なからず影響があったのかと思ったものだ。

食聖ブリア・サヴァランは言う、新しいご馳走の発見は天体の発見より素晴らしい。飲食店経営は人間の食欲というプリミティブな欲望と喜びに直結しているため大変生々しくクリエイティブだと思う。食事はオーケストラなのだ。ただ美味しいものがそこにあればいいのではない。確かなものをお出しするだけではなく店の雰囲気、店側の接し方、会話等が相乗して最高の楽曲ができる。まさにお客を含めた総合力が必要だ。

開店から数年たち、ふと思った。店は当然、お客が選ぶように思えるが、店が有する個々の楽しませ方、居心地、客同士との場の共有感、お出しする品などのメッセージが固まってくると不思議だが結果的に店主がお客を選んでいく要素もあるようだ。（次回に続く）

名将石山建一氏が 天下の計を岳南に示す

岳南球友会94期 松永 啓

一九二四（大正十三）年夏甲子園竣工から百年目の本年、当時、開幕戦に出場した北海は、今春の選抜でも健在ぶりを示した。もう

一校の本校は昨夏秋の初戦負けから捲土重来じっくりと力を付け、三月開幕以来、近江・日大藤沢・甲府工・桐光学園などと切磋琢磨し、例年通り、練習試合では駿河の俊英的な強さを発揮している。その、毎年素質に恵まれ高度に錬磨されたチームが夏の甲子園で最後に勝ってから二十年を経た今「夏の舞台で勝ちを譲る優し気なシズ子？」に改革を起こすべく、遂に七七期石山建一主将遊撃手が立ち上がった。それは勝つためのプロジェクトだった（風の中の昂の曲をお願いします）。

二月の関東同窓会で石山さんは阪神岡田監督との半世紀間の信頼関係などを語り、改革のヒントを示した。高松中の神童が岳南の優れた主将となり、早稲田の名選手名監督、都市対抗では名門日本石油の主将、堤義明と築いたプリンスホテル王国、ミスター長嶋茂雄等との球界の絆。その野球人生を創ってきた哲学と戦略戦術を、今静高のために語り始めたのだ。そこには岳南遊撃の星、その伝説も息づいている。

遊撃手といえば、元祖ともいえる十四期加藤周蔵遊撃手。颯爽とした、坂本龍馬か高杉晋作のような革命児。横浜の米国電力企業の技術営業マンから郷里静岡に戻り静中を育て、大正十三年から監督として甲子園に乗り込み、十四年には帝王愛知一中に勝ち、十五年に「羊のチームを猛虎に変貌」させて天下を括目させ、静中の強さを永劫のものとした勝負師中の勝負師、天才監督加藤周蔵。

そして昭和四年に入学し一年夏からレギュラーの四七期鈴木吉朗遊撃手。甲子園に七回出場し、静中といえは鈴木芳太郎投手と一年下の天才ショート吉朗の鈴木鈴木のクリンナップコンビ。昭和五年の天覧試合静岡戦で、三遊間の奥深いゴロを一塁にワンバウンド送球し刺した伝説のプレーは天皇陛下の御心を動かし、天覧時間を延長され、静中のクリーンヒットを御覧賜った栄誉。大戦において中国戦線に赴き、大陸の南方で戦病死された吉朗は明らかに戦争犠牲者であり、沢村栄治や嶋清一と同じく日本の野球の礎、岳南に輝く天の星である。

戦後は今日に至るまで、静高の名ショートは枚挙にいとまなく中日の村松開人や今の石橋咲人遊撃手も素晴らしく伸びつつある。だが、自ら「静高は勝つ」と宣言して勝ち続けた遊撃の第一人者は昭和三五年の石山建一だ。高松中学で県連覇のベストナイン石山が静高では石田勝広投手等と強力チームを培った訳だが、大社戦での「人神の美技」と伝わるフライングプレーは、今つくづく思うに偶然の産物ではなくて、歴史的に珍しい「甲子園で勝つ静高」の象徴だったと思う。三月二七日にその石山建一さんが本校同窓会館でも講演を行った。学校関係者・審判員・父母・野球部OB・同窓生・市民ファンが、石山さんがプロ・社会人・学生の野球を縦横無尽に論ずる、その圧倒的な実績から生まれた明快な論旨に聞き入った。野球技術の発展と勝利は、野球を取り巻く人間社会の知恵と情熱の絆から生まれるとのスポーツ文化論だ。今年、高校野球に低反発バットが義務付けられ、野球の質が如実に変容しつつある。本校は、投手は三年の谷脇・中野・梅澤、二年の増田・吉田等が防御率に優れた投手陣を形成しており、最小失点という最大の勝利条件を満たせる可能性が有る。打線は、広角に打てる松下球真主将中堅手、パレンチの効く漆畑稜右翼手、固め打ちのパワーヒッター和田琉太三塁手、二刀流でリストの強い中野桜佑一塁手、腕力よりもミートで心掛ける偉丈夫石垣拳捕手等が上位に連なり、下位も快打を繋いで着実に加点し勝ちに行く攻撃を実現できる。この選手力を最適に組み合わせ、合理的かつ相乗効果を生むような戦術を駆使して、夏は二十年振りにお盆を越える躍進を期待して応援したい。

岳南球友会は、二十歳台の俊英会員も迎え、七十期望月一男内野手会長がいよいよお健やかな今、静岡関東一体のミュージカル的な応援（写真ラスト）も育み、聖地奪還の岳南十字軍を募って、本年も心を繋いで進みます。



低反発バットで低いライナーを連発



たくましさを増したエース谷脇健心



早春の日大藤沢校庭で颯爽の古豪？



球友忘年会の70期望月一男会長と
マリテス・OBA・湘南エレキバンド



スタンドは「求む 60 歳以下の男性」



クイック&シュアーに(石山さんより)

たかが同窓会、されど同窓会
第27回
追想 三木卓さん
「思い出は尽きない」

71期 浦田 彰

三木さんが亡くなった。去年の11月18日、88歳老衰で、と報じられた。三木さんは静高70期、私の一期先輩だ。会えば「やあ久しぶりだなあ」と、人懐っこい温顔で迎えてくれた。思い出は尽きない。私にとって三木さんは、芥川賞作家の三木卓でもなく、日氏賞の詩人・三木卓でもなく、ましてや芸術院会員の三木卓さんでもない。

もう30数年前になるが、三木さんがエッセーを毎号寄稿していた月刊文芸誌『かまくら春秋』の編集者を介して三木さんの知遇を得た私だが、思いがけない先輩後輩の付き合いとなった。たいていはハガキの往復だったが、気の合う同世代、今ふり返れば話題はいろいろ、先ずあの戦争のこと、三木さんは良き満州時代のこと、悲惨だった引揚げのこと、戦後の駅南の市営住宅での暮らしのこと、などなど。僕もB3に追掛けられての三度の疎開、四度の転校のこと、などなど…。

それに健康のこと、三木さんは30年前の心筋梗塞のこと、進行する老いのこと、度々の入院のつらさ。私も負けず？疎開先での虫刺されのこと、頸動脈梗塞のこと、腰痛のこと…。

それに何といつても夏になれば甲子園のこと。三木さんは幼年の頃からの足の不自由もあって、運動は不得意だといえながらスポーツは大好き。特に野球や大相撲はテレビ観戦の批評家だった。もちろん静高野球の事となるとハガキに溢れる応援ぶり、毎年ふたりの文通は盛り上がり、高あったり負けてガツカリしています。こう私立が強くなるようでは、ソロソロ静高野球もムリするのを止めた方がいいかもしれない。応援する気持ちは変わりませんが…。



三木卓さん(かまくら春秋社提供)

なテクニシャンだ。(中略) お相撲という戦前の我が家ではみんな熱っぽかった。父の応援は名寄岩、兄は安芸ノ海だった。私は神風、戦時中のことだった。また、入院療養中のハガキには「人間、ここまで来ると生と死の転換がいつ来るか、あまり心配しないで眺めることにしました。そんな境地を生きるこの頃ですが、生きる気分をしつかり確かめることが大切だと思います」。三木さんは、どんな深刻なハナシでも、どんなシリアスな話題でも穏やかでユーモアたっぷり、に、わかり易い言葉を使って語り合っていました。

た函南村での農地改革の実態調査。そして、社研部から文芸部へ、政治的な思想や実践活動の青年らしい激しい振幅からやがて、詩と文学への世界へと収斂してゆく。主人公つまり三木さんの静高時代。もちろん兵舎の城内高校から長谷の新築の静岡高校へ椅子と机を運んだこと、解Ⅱで四苦八苦したこと、英語の弁論大会で落選したこと、家庭教師で苦労したこと、個性ある友人との交流など…誰もが味わったに違いない高校生活が親しみのある静岡の方言で綴られている。



また、三木さんは在学中、小説そのままに校内誌『塔』を舞台に、将来の文壇での活躍を予見したような高校生ばなれした作品を発表し、私たちに途轍もない刺激を与えた。

三木さんはここ数年、ご自宅に引き籠ったままだったので、ハガキのやり取りだけで三木さんの消息を知るばかりだったが、三木さんのような畏敬する先輩の知遇を得たのも同じ学び舎で三年を過ごした同窓という絆のおかげだと思ふ。たかが同窓会、されど同窓会だ。

《お別れの挨拶》
富田三樹(三木卓)先輩

88期 金森 文孝

御逝去の報に接し、ただただ驚き悲しみの中、全身の力が抜けてゆきました。八十八歳での旅立ち、幼い頃からの難難辛苦の数々を乗り越えられての老衰とうかがい、最期の一瞬まで輝き続けられた大先輩に心から敬意を表します。お疲れ様でした。ゆっくりお休みくださいませ。先輩が野球好きとうかがい、母校静高野球部のレポートを年三、四回お届けすると、即お返事を下さいましたね。お宅に伺って、応援Tシャツをプレゼントした時、「私はもう甲子園までは行けないけれど、この印高Tシャツを着て、テレビの前で応援するよ」と笑顔で記念撮影に快く応じて下さいました。

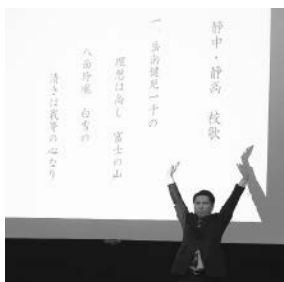
戴いた御著書、御手紙、御葉書大切に保管致します。次に母校が甲子園に出場する時は先輩の写真を胸に抱いて応援致します。ご恩は一生忘れません。先輩さようなら。有難うございました。



2019.12.18 鎌倉の御自宅で(印高Tシャツと)

冬の懇親会 各期幹事会

2月24日(土曜)、日本プレスセンターホールにて各期幹事会が開催されました。前回はコロナ時代に入ると直前の2020年1月でしたので、4年ぶりです。参加者は68期から122期までの幅広い世代の51名でした。



始まりの合図で校歌斉唱。指揮は100期・恒光隆法さん

乾杯音頭をお願いした最高齢90歳となる68期・吉崎英輔さんから、学校名の変遷について貴重なお話がありました。「旧制静岡中学(静岡の前身)へ入学。中三になると学制改革で静岡第一高校併設中学に。当時、城北高校は第二高校と呼ばれていたが、ランク付けとも思われる名称は男尊女卑だという全国的な風潮もあり、第一高校は**城内高校**に、第二高校は**城北高校**に改名。男女共学となり女性11名が入学。昭和28年3月に城内高校を卒業。4月に長谷へ校舎を移転し、9月に改名した**静岡高校**には通っていない。』創立150周年を4年後に迎える母校の名称が目まぐるしく変わり、静岡静高史を語る上で欠かせない

いルーツを垣間見ました。

今回の企画の一つとして、元野球部、そして現在も指導者として活躍の77期・石山建一さん、静岡高校のお話をさせていただきました。なぜ野球部に入ったのか、毎日欠かさず久能の二塁段の階段を上がる自主トレ、準優勝をして凱旋した時の光景など、静岡時代のお話から、阪神岡田監督の早大時代のエピソード、ドジャース野茂選手とのやりとりなど、矢継ぎ早に面白い話が飛び出し、どなたもまだまだ続きが聞きたかったことでしょう。全体の構成上、時間をたっぷりご用意できなかったのが残念でした。



小気味よく情報豊かな石山さんのお話は皆さんを惹きつけました。



同期・石山さんの講話があることで、77期は総勢10名が参加していただきました。

夏に開催する総会幹事期101期からのお知らせに続き、今回は本部及び関東の幹事期を終えてからも、個性的な集まり方をしているいくつかの期の活動を紹介します。東北在住の寺井良夫さんを主宰とする *SSBB League* を応援推進している92期・目下淳さん、服部泰子さんから活動紹介と春ツアーの案内、山岳・囲碁の二つの趣味の輪を広げている94期、「岳南サロン」と称して毎回テーマを決め、91期・鈴木宏さんのお店アットワンダーなどで勉強会を行っている96期など、各期への参考になったかと思えます。また、会報でお馴染みの岳南球友会から、94期・松永啓さん、98期・近藤靖さん(現清水桜が丘高校野球部監督)が壇上に立ち、毎度のごとく盛り上げていただき、会が和みました。



夏の総会幹事である101期の皆さんから、総会/講演会の案内。講演者・小澤吉徳さんのお人柄等の紹介がありました。



各期幹事会は、どなたでも参加できる冬の懇親会です。もっと多くの方に気軽に参加していただけるよう来年は改称し生まれ変わる予定です。関東同窓会の活動目的は、会員同士の交流懇親です。ので、参加者同士がよりお互いを知り、今を生きる自分への刺激、情報共有、そして単純に楽しい時間を持つことに、少しでもお手伝いできたらと思います。今後とも皆さまのご参加をお待ちします。(副会長 中沢京子 97期)



各期から1名参加となった方もいましたが、先輩後輩それぞれが交流を楽しみました。



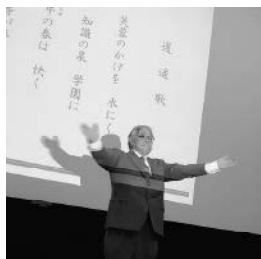
会員と顔なじみの多い先輩と、7月総会幹事を控えた後輩のカップリングで受付。

異業種交流会のご案内

第34回異業種交流会は6月14日(金)18時半より日本プレスセンターにて、98期・室田真男氏(東工大教授・リベラルアーツ研究教育院のファーストスπιーチの予定。関東同窓会までメールでお申込みください。



肩を組み大団円で逍遥歌斉唱。指揮は103期・山本数馬さん。気持ちよくお開きとなりました。



T&K Partners

弁護士 小杉祥代 (107期)

T & K法律事務所
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5
砂防会館本館2F
T:03-6265-4738 F:03-6265-4681
kosugi@tandkpartners.com



株式会社 ウエマツ

代表取締役社長 福田浩志 (97期)



〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-34-13
TEL. 03-3953-1101 FAX. 03-3953-0557



〒335-0034 埼玉県戸田市笹目 8-12-2
TEL. 048-449-8777 FAX. 048-449-8733

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでん ガッツ

☎ 03-6273-8663
🌐 <https://shizokaoden-guts.red/>
🐦 @ShizokaOdenGuts
📱 静岡おでんガッツ
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 2-19-8 阿部ビル1階
代表 市川 徳二 (112期)

高さを仰ぎて心を繋ぐ

さあ一緒に時空を超えて
吾等が聖地を歩みましょう

岳南球友会

会長：望月 一男 (70期 野球部)

H P 「岳南球友会」

連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)

メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp

Record China

相談役 主筆

八牧 浩行

Yamaki Hiroyuki

株式会社 Record China

東京都中野区本町3-30-4

KDX中野坂上ビル1F

090-2653-9469

hiroyuki.yamaki@gmail.com

幼児教育に新しい風を



こぐま会

幼児教育実践研究所

代表取締役 久野泰可 (83期) 取締役 久野淑子 (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815

Lighting for Your Safety

Koito

<https://www.koito.co.jp>

安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願い

本社：東京都品川区北品川5丁目1番18号 TEL:03-3443-7111
国内工場：静岡、榛原、相良、富士川、九州
海外工場：USA、メキシコ、ブラジル、UK、チェコ、中国、台湾、
タイ、インド、インドネシア、マレーシア

小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

2023年度 静中静高関東同窓会 年会費拠出者一覧 (589件) ご支援をありがとうございました

74	73	72	71	70	69	68	67	66	64	62	61	59
森田史雄	井出宏嗣、大嶽隆司、角谷治子、佐藤薫郷、佐藤鐘司、西村泰一、藤原經史、望月保、池ヶ谷章、大木茂、鎌田悦弘、鈴木良明、仲川信正、山全登	池ヶ谷寿夫、櫻井正之、佐野令而、清水雅彦、種茂雅之、増田欽一、村手正之、八木猛、山口公子、山田勝、渡邊繁	山本雅司	前田利彦、村松綏啓、矢部正和、山田卓夫、遠藤吉隆、小池啓治、後藤弘枝、諏訪逸郎、曾根幸一、富野壽、長倉眞一、廣田道男、石川宏、伊藤勝、浦田彰、遠藤幸男、増井満男、望月泰弘、渡辺勝美	倉田聰、谷川治弘、原久彌、山下泉、太田英雄、大場良臣、小澤良輔、影山昇、片山智司、白石通子、田形隆一、田中元、調子達郎、中村龍二、仁科俊介、牧野甫、增井満男、望月泰弘、渡辺勝美	大石康博、酒井定子、佐野川好母、菅野寛也、鈴木昭夫、瀬口寿一郎、塚本浩司、吉崎英輔	荒谷じつ子、磯西洋、岩瀬順郊、宇田貞子、朝倉勇、向井久和、山岡進	藤原朝則、村松武司、茂木爲男	新井彰、塚本光彦、野澤正憲	大坪信之、菊田聰裕、原野谷朋司、稻森慎二、清水照彦、諸田實	寺尾壽夫	青山勇、狩野和男、田澤義彦、本田豊
82	81	80	79	78	77	76	75					
小野田周二、金子恵子、鈴木良彦、青木式、青山修二、荒牧喬平、池田整、石川倫男、伊東惇、伊藤信、岩崎年史、遠藤良治、大内修、大村多聞、小野宏、須川恒次、村田吉隆	伊井和良、嶋田政子、高山貞和、仲澤幸子、英嘉明、森下鉄夫	秋山幹男、池ヶ谷吉人、小木哲朗、風戸学、角谷勝彦、柴田裕、鈴木勝、長島孝太郎、吉田伸一郎	井出雅子、上田尚亮、江川豪雄、太田第一、小川郷太郎、小林陽三、安間孝信、安本恭介	小田島鏡子、甲賀国男、小林勝弘、小林俊、白木桃子、田中奉、増田勲、石井博之、石原庸雄、石山喬、内田信、小長井奎幸、佐藤昌男、清水雅尚、杉山武、中川素子、野方重人	勝間田正喜、栗田收司、後藤嘉代、梅屋尚子、江頭真彦、大岩蓮、磯谷計嘉、伊藤達雄、岩崎敏宏、石橋三洋、石間啓一、石山建一、塚本平二、山住裕彦	鈴木高夫、高田忠敬、田口紘一、田村充、青島大太郎、國保能彦、坂内三容、村松友規	安達嗣雄、井出辰一郎、今田肇、勝亦正安、川面忠男、越村敏昭、笹尾光彦、佐藤修二、志村孝、本多幸吉、矢部正和、川面忠男、越村敏昭、村松友規					
89	88	87	86	85	84	83						
堀弘明	北村昌義、新村暢宏、平川慶子、塩沢潤、田中育恵、安本隆晴、矢部みはる、山田裕道	宇佐美博高、大村康二、近藤秀樹、水上浩司、藁科名雄	八牧暢行	池田幸司、遠藤とも子、小梁吉章、高橋成彰、竹内二士夫、竹内裕子、竹田徹、富谷史子、増井喜一郎、松本隆史、三上嗣夫、望月光	成田恵理子、野口洋一、古谷良樹、松島勤、松永重雄、吉野文江、渡会清治	馬場信幸、渡水実根子	多賀谷秀保、滝戸直人、伊達新之輔、堀内淳司、山内昭一、八牧浩行					

- 98
- 97
- 96
- 95
- 94
- 93
- 92
- 91
- 90
- 秋山治彦、大村健二、栗山伸一、佐野雅明、
深沢英昭、森田悦三、山下雅子
青島裕之、生田英一郎、伊藤義和、
岩崎哲也、宇佐美恵子、小原裕子、
倉沢千明、栗山雅之、佐野靖宏、鈴木忠善、
谷津和孝、土崎弘子、伴野昌厚、中村未弓、
原幸彦、藤嶋善彦、船木真由美、
村松秀明
浮田聡、日下淳、清水篤、杉山公敏、
園野康祐、西野友規、服部泰子
青木洋、阿部哲也、石川隆、稲葉繁、
海野典夫、小澤薫、小野泰洋、勝又健次、
志賀浦伴昭、中村哲久、野毛宏、鷺津肇、
渡辺晃一郎
荒井軍治、池上徹、石井寿子、石川雅英、
石川雄一、稲葉宏、岩崎朝一、小川志郎、
小山田潔、亀山晴信、栗原千朗、小池一徳、
新村敏雄、杉田智昭、鈴木真次、谷口寛明、
榎井隆、照井徹、野中保晃、松永啓、
松野敦子、矢部龍太郎、山内隆史、
吉永陽子
石井克昌、牛見豊、太田洋行、岡部正明、
片岡敏晃、加藤光俊、菊入弘行、
菊入みゆき、佐藤茂孝、曾根正裕、
田村公二、遠又寛行、永江総宣、服部智任、
増田正樹、見原万智子、吉元幸子
青木伸、青木正樹、朝比奈正人、
芦野光憲、鈴木伸子、鈴木里絵子、
田形昭乃、辻田淳子、中尾安志、細澤優、
山本茂未、山元一
岡村浩志、小澤靖弘、桐ヶ谷信和、
窪田誠、小林秀男、杉田太志、杉本文秀、
高林径子、富川マミ、中沢京子、野田和宏、
相原圭一郎、佐野倫、富田英美、

- 126
- 123
- 122
- 115
- 114
- 113
- 112
- 110
- 109
- 107
- 106
- 105
- 104
- 103
- 102
- 101
- 100
- 99
- 村上孝子、室田真男、山本浩志
青嶋聡、青島矢一、青島洋子、稲葉克哉、
大利和也、尾高泉、加藤晃史、川又竹男、
高木宏、田旗裕也、辻ゆかり、納谷幸男、
野元知子、山下暢久
新目真紀、五十嵐寧、小西秀雄、
佐野正幸、常木学、長谷川和也、
牧田秀幸
穴澤敦子、梅津香織、漆畑裕樹、
大石智子、白井正博、林千恵子、
夏目幸一郎
小泉輝武、佐藤敬子、佐藤友男、
田村晋一、向井良、渡辺晃生
伊藤重彦、海野佳幸、大村卓矢、
日下雄一郎、向田敏弘、山下史記
近藤いづみ、鈴木美穂子、萩原さほり、
吉崎亜由美
田中雄介、山中彰人
佐藤威一郎
木本雅彦、小杉祥代、三島渉
大滝琢磨、小澤康裕、松永鋭太郎
鈴木健一郎
市川徳二、加藤剛史、森川洋平
池田友美、松浦佑介
岩崎衣里子、増田隆治
土屋晴裕
神田康、向山哲史
西口雄基
中島怜子

関東同窓会の会計年度
は、4月1日～3月31日
です。

引越したら住所変更を
ホームページ「お問い
合わせ」にあるフォー
ムのほか、メール、事
務所FAXでも受け
付けております。



↑ 新規登録・住所変更はこちら

年会費（維持費）納入方法のご案内

(1) 払込票を使う

会報と同封のゆうちょ銀行専用「払込取扱票」にて、お近くの郵便局内ATMもしくは窓口でお振込みください。

(2) 口座から口座へ電信送金

ご自身の銀行口座より左記の関東同窓会口座を指定し直接送金できます。（各行各サービスにより手数料がかかる場合があります。）
依頼人名やコメントなどの画面にて、必ず卒業期の数字入力をお願いします。

★ゆうちょ銀行

〇二九（ゼロニキュウ）店
当座 0009969

★みずほ銀行

江戸川橋支店
普通 8078861



決済サービス
オンライン
決済サービス
をご利用ください

(3) オンライン決済サービスを利用する

収納代行を手掛けるウエルネット（株）と提携し、関東同窓会専用の年会費決済システムを構築、導入しています。

★クレジットカード・Visa、Master

★支払秘書…ウエルネットが提供するスマホ決済アプリ。銀行口座やコンビニ、銀行ATM、ネットバンキング等からチャージして支払います。

★コンビニ決済…手続き後5日以内に、ご指定のコンビニに行き、店頭で支払います。

（ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ）

S

お問い合わせ

住所変更のご連絡

会報の送付を依頼したい方、送付先を変更される方は、以下のフォームよりご連絡ください。

新規登録・住所変更連絡フォーム

◆ホームページ閲覧状況

2023年度下期（10月～3月）

訪問者数：11,812人

（前回9,807人）

ページ閲覧数：110,698回

（前回41,338回）

◆会員現況：3,427名（50名減）

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)

代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1

TEL 054 (354) 3015 (秘書室)

京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7

TEL 03 (6404) 2100

「何宗ですか?」「ハイ、皆之宗(みなのかみ)です!」

～いざという時、頼りになるかかりつけのお寺～

普 門 庵

臨済宗大徳寺派 住職 見城宗忠 (90期)

206-0801 東京都稲城市大丸 857

Tel : 042-378-1707 Fax:042-379-8647

URL : <http://www.fumon-an.jp>



建築・不動産活用などのご相談はどうぞ

Architects Office

一級建築士事務所

石川 雅英 (94期)

Masahide Ishikawa

108-0071 東京都港区白金台 3-2-16-201

T 03 - 5422 - 6525 HP www.rvstone.com

architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

伊豆の旬



www.yanmo.co.jp

小林 秀男 (97期)

<南青山> 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1

TEL:03-5466-0636 (日曜日のみ休)

<丸の内> 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1

TEL:03-5224-3322 (定休日なし)

<大手町> 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルB1

TEL:03-3278-7272 (土日祝定休)

伊豆の旬



住出し厨房



同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方 重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3

蔵下ビル6F

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820

ANOMADO

『アジアの窓』編集長

中立公正な言論ニュース・広場

八 牧 浩 行

携帯 090-2653-9469

E-mail hiroyuki.yamaki@mbm.nifty.com

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥 巢 修 税 理 士 事 務 所

税理士 鳥 巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17

TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848

E-mail : [tосу@mtj.biglobe.ne.jp](mailto:tosu@mtj.biglobe.ne.jp)

* 昼 2 時より夜11時まで診療 *

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 齋 科 名 雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩 5 分

TEL 0120-376-480

FAX 03-3710-8847

〒153-0051 目黒区上目黒 2-18-13

新店舗アットワンダーJG 開店!



見るだけで楽しい120坪の大型書店
失われていく記憶と、それを愛するすべての人に

文学/歴史/思想/哲学/映画・芸能/音楽/美術/サブカルチャー
アニメ/ゲーム/アメコミ/古書漫画/スポーツ/ポスター/紙物他

アットワンダー本店

地下鉄「神保町」JA1

神田神保町2-5-4

開拓者ビル1・2F

←丸の内線

神保町

神田小川町交差点→

サイゼリヤ

★

アットワンダーJG

地下鉄「神保町」JA5出口出て左

サイゼリヤ角曲がる

神田神保町1-4-5

日商第一ビル1F

アットワンダー本店も通常営業
書籍 家財 雑貨等の買入れ、整理、片付けの
ご相談はお気軽に! wonder@atwonder.co.jp
アット@ワンダー 0120-154-727 店主:鈴木宏 (91期)



ブックカフェ二十世紀(本店3F)にも
ぜひお立ち寄りください。

←イベント等詳細はホームページへ

